

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

対象 学科	科目名	担当教員	担当教員の主な 実務経験	授業内容
看護 学科	看護情報学	糠信 憲明	看護師として病院・老健施設に勤務 (1999～2004)	情報管理や情報リテラシー、個人情報保護とインフォームドコンセントについて学修し、情報活用に伴う倫理的感性の涵養などを図っている。 <u>病院・老健施設での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	保健医療福祉行政論Ⅰ	藤井 紀子	保健師として行政および健診機関に勤務 (1977～2017)	保健医療福祉行政における歴史や基本的な施策等の裏付けとなる根拠法について学修する。 <u>行政や健診機関での実務経験を活かし、実践的な講義を展開している。</u>
	保健医療福祉行政論Ⅱ	岡田 ゆみ	看護師として病院（混合病棟）に勤務 (1997～1998) 保健師として市町村保健センターに勤務 (1998～2001)	保健医療福祉行政と保健師活動について学修する。保健医療福祉行政・財政の仕組み、社会保障制度、地域保健の体系などを含む。 <u>病院や行政での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	疫学	岡田 ゆみ	看護師として病院（混合病棟）に勤務 (1997～1998) 保健師として市町村保健センターに勤務 (1998～2001)	公衆衛生看護画の基礎となる疫学概念と方法について基礎的な事項を学修する。集団の健康状態の指標、疫学研究方法、スクリーニング、社会疫学、政策疫学などが含まれる。 <u>病院や行政での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	保健統計	藤井 紀子	保健師として行政および健診機関に勤務 (1977～2017)	保健行政における施策には、裏付けとなる現状分析によるデータが存在し、その基本的な解析方法やデータが示す意味を理解し正しい解析評価の必要性を学修する。 <u>行政や健診機関での実務経験を活かし、地域における様々な健康指標としてのデータを今後の施策等に反映する実践的な講義を展開している。</u>
	看護学概論Ⅰ	二井矢清香	看護師として病院に勤務（11年）	看護の基礎となる人間、健康、環境の概念を学修し、専門職としての基本的な態度について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	看護学概論Ⅱ	二井矢清香	看護師として病院に勤務（11年）	健康障害の各過程にある対象者や家族について多様な理論を用いて学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	基礎看護技術演習Ⅰ	二井矢清香	看護師として病院に勤務（11年）	看護の視点から、身体各系統におけるフィジカルアセスメントについて学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		三味 祥子	看護師として病院に勤務（12年9ヶ月）	
		岡本亜耶子	看護師として病院に勤務（10年）	
		杉野 美和	看護師として病院に勤務（13年）	
	基礎看護技術演習Ⅱ	二井矢清香	看護師として病院に勤務（11年）	患者の日常生活に関わる基本的ニーズを捉え、根拠に基づいた看護技術を学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		三味 祥子	看護師として病院に勤務（12年9ヶ月）	
		岡本亜耶子	看護師として病院に勤務（10年）	
		杉野 美和	看護師として病院に勤務（13年）	
	基礎看護技術演習Ⅲ	二井矢清香	看護師として病院に勤務（11年）	看護の役割を考えながら、根拠に基づいた診療の補助に伴う援助技術を学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		三味 祥子	看護師として病院に勤務（12年9ヶ月）	
		岡本亜耶子	看護師として病院に勤務（10年）	
		杉野 美和	看護師として病院に勤務（13年）	
	看護診断学演習	二井矢清香	看護師として病院に勤務（11年）	患者の健康問題の解決に向けた看護を提供するための問題解決能力を学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		三味 祥子	看護師として病院に勤務（12年9ヶ月）	
		岡本亜耶子	看護師として病院に勤務（10年）	
		杉野 美和	看護師として病院に勤務（13年）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	基礎看護学実習Ⅰ	二井矢清香	看護師として病院に勤務（11年）	健康障害をもち入院生活を送る患者について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な実習を展開している。</u>
		三味 祥子	看護師として病院に勤務（12年9ヶ月）	
		岡本亜耶子	看護師として病院に勤務（10年）	
		杉野 美和	看護師として病院に勤務（13年）	
	基礎看護学実習Ⅱ	二井矢清香	看護師として病院に勤務（11年）	健康問題を把握し、基本的ニーズの充足に向けた看護実践について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な実習を展開している。</u>
		三味 祥子	看護師として病院に勤務（12年9ヶ月）	
		岡本亜耶子	看護師として病院に勤務（10年）	
		杉野 美和	看護師として病院に勤務（13年）	
	成人保健	秋山 智	看護師として病院に勤務（1982～1993）	成人期の特徴、成人を取り巻く環境、および成人保健の概要について理解し、成人看護の基礎となる知識について学修する。特に、1. 成人看護の対象である「成人」の特徴について、2. 成人を取り巻く社会環境と成人の生活の特徴について、3. 成人の健康の動向と保健/医療/福祉政策の概要について、学修を深める。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	成人看護学概論Ⅰ	松本 睦子	看護師として病院に勤務（1988～1994）	急性期・周手術期にある成人の看護として、急性症状や手術に伴う侵襲と生体反応、術後合併症の早期発見・予防のための観察と看護について学修する。また、がん患者の身体的・精神的苦痛を理解し、がん治療に対する看護についても学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		俵 由美子	看護師として病院に勤務（1998～1999）	
		濱井 和子	看護師として病院に勤務（1985～1991）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	成人看護学概論Ⅱ	秋山 智	看護師として病院に勤務（1982～1993）	成人の特徴と健康の保持・破綻・回復の過程を理解し、成人患者や家族に対する看護の基礎を理解するために、1)成人を取り巻く社会環境と成人の生活（仕事・家族）、2)健康障害を持つ成人に関わる際の基本的な理論、3)成人の健康状態に応じた看護（慢性期・終末期）、について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	成人看護学各論Ⅰ	松本 睦子	看護師として病院に勤務（1988～1994）	急性期・周手術期にある患者の苦痛緩和を図り、回復過程の促進に向けた看護について学修する。消化・吸収機能と呼吸機能に疾患をもつ成人の術後経過に応じた看護を中心に、合併症予防と異常の早期発見、危機状態にある患者や家族の精神的安定を図り、治療等に関連した意思決定を支える看護について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		俵 由美子	看護師として病院に勤務（1998～1999）	
		濱井 和子	看護師として病院に勤務（1985～1991）	
	成人看護学各論Ⅱ	秋山 智	看護師として病院に勤務（1982～1993）	慢性期にある成人の看護を理解するために、慢性期の障害の特徴と生活に及ぼす影響、セルフケアの重要性と患者・家族のライフスタイルをふまえた臨床看護・継続看護について学修する。さらに、栄養代謝機能に障害がある人、内分泌機能に障害がある人の看護を学修する。講義内容としては、1)糖代謝障害や内分泌疾患の人の看護、2)膠原病をもつ人の看護、3)血液疾患をもつ人の看護、について学修する。なお、この中には、終末期のケアに関することも含む。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		岡本 裕子	看護師として病院に勤務（1980～1988）	
		坂村 八恵	看護師として病院に勤務（1993～2000）	
		竹山 広美	看護師として病院に勤務（1994～2001、2004～2011）	
		野間 雅衣	看護師として病院に勤務（1987～1993）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	成人看護学演習Ⅰ	松本 睦子	看護師として病院に勤務（1988～1994）	他臓器の機能障害が起こりうる危険性の高い状態にある成人の看護として、急激な病態変化を予測した観察とアセスメント、全身機能への悪影響や悪循環を回避して心身両面の健康を回復に導くための看護を学修する。また、急性期・周手術期にある事例患者に必要な看護過程と看護技術についても学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		俵 由美子	看護師として病院に勤務（1998～1999）	
		濱井 和子	看護師として病院に勤務（1985～1991）	
	成人看護学演習Ⅱ	秋山 智	看護師として病院に勤務（1982～1993）	慢性的な障害に対する生涯的なセルフケアを支援する援助を理解するために、1)脳・神経系の障害の人への回復期・慢性期における看護、2)腎不全で透析治療を余儀なくされている人の看護、3)肝機能の障害がある人の看護、について学修する。各事例では主要テーマに関する臨床看護に加え、家族看護を含めた継続看護を視野に入れ、看護の具体的な展開について学修する。なお、吸引法や経管栄養といった、臨床や在宅で行われる可能性の高い看護技術についても学修する。 <u>病院での職務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		岡本 裕子	看護師として病院に勤務（1980～1988）	
		坂村 八恵	看護師として病院に勤務（1993～2000）	
		竹山 広美	看護師として病院に勤務（1994～2001、2004～2011）	
		野間 雅衣	看護師として病院に勤務（1987～1993）	
	成人看護学実習Ⅰ	松本 睦子	看護師として病院に勤務（1988～1994）	急性期・周手術期にある患者および家族を受け持ち、状態の変化に応じた看護および健康回復に向けた看護を実践するための知識・技術・態度を学修する。また、急性期における保健・医療・福祉チームの協働・連携についても学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		俵 由美子	看護師として病院に勤務（1998～1999）	
		濱井 和子	看護師として病院に勤務（1985～1991）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	成人看護学実習Ⅱ	秋山 智	看護師として病院に勤務（1982～1993）	慢性的な障害をもつ成人患者の健康状態や生活過程についてアセスメントし、個々の患者がより健康な状態に進むための看護計画を立案・実施・評価する看護過程を学修する。また、継続看護に向けて、患者および家族へのセルフケア支援、社会資源の活用について学修する。 <u>病院での職務経験を活かし、より個別的な指導を展開している。</u>
		岡本 裕子	看護師として病院に勤務（1980～1988）	
		坂村 八恵	看護師として病院に勤務（1993～2000）	
		竹山 広美	看護師として病院に勤務（1994～2001、2004～2011）	
		野間 雅衣	看護師として病院に勤務（1987～1993）	
	老年看護学概論	白木 智子	看護師として病院に勤務（1981～1992）	ライフサイクルの中で老年期を捉えるために、高齢者を取り巻く社会制度や、加齢による心身の変化から高齢者の特徴について学修する。さらに、高齢者看護に活用できる理論や、対象理解の指標、高齢者に必要な療養上の支援として薬物療法、手術療法、リハビリテーション看護、看とりの看護などとともに、高齢者を取り巻く医療・看護の現状と多職種間の連携について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		石原 克秀	看護師として病院に勤務（2002～2008）	
		山田 智子	看護師として病院に勤務（2000～2009）	
		乗越 健輔	看護師として病院に勤務（2004～2012）	
	老年看護学各論	白木 智子	看護師として病院に勤務（1981～1992）	加齢による変化と、健康障害により生ずる身体・生活機能・社会的変化を統合しアセスメントを行い、援助ができる知識と技術について学修する。その学習により、高齢者の健康回復・予防にむけた援助と、QOL向上にむけた支援ができる能力の修得を図る。健康障害によって生ずる諸問題として、コミュニケーション、活動・休息・睡眠、食生活や排泄、清潔の援助などについて、高齢者の特徴を踏まえながら、要因やアセスメント、援助について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		石原 克秀	看護師として病院に勤務（2002～2008）	
		山田 智子	看護師として病院に勤務（2000～2009）	
乗越 健輔		看護師として病院に勤務（2004～2012）		

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	老年看護学演習	白木 智子	看護師として病院に勤務（1981～1992）	高齢者のQOL向上を目指した看護ができる援助方法について学修する。学生は高齢者体験を通して高齢者の心身の変化を実感するとともに、援助のあり方について理解を深める。また、高齢者の代表的疾患である運動器系疾患・感覚器系疾患・泌尿器系疾患や認知症などについて、アセスメントできる知識と援助を学修し、さらに障害をもつ高齢者の自立支援の方法について学修を深める。疾患を持つ患者・家族に対する看護過程の展開について、事例を通して学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		石原 克秀	看護師として病院に勤務（2002～2008）	
		山田 智子	看護師として病院に勤務（2000～2009）	
		乗越 健輔	看護師として病院に勤務（2004～2012）	
	老年看護学実習	白木 智子	看護師として病院に勤務（1981～1992）	病院と老人保健施設において実習を行う。病院においては、入院している高齢者を受け持ち、看護の方法論として看護過程を活用して、情報のアセスメントから個別の問題点の抽出・ケア計画・実施・評価を行う。この場合、既習の老年看護学概論・各論・演習で学習した内容および他領域での学習内容を統合して、看護過程が展開できるように、またチームの中での学生の位置づけを考慮した関わりを行い、実習目標に到達できるように支援する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な実習を行っている。</u>
		石原 克秀	看護師として病院に勤務（2002～2008）	
		山田 智子	看護師として病院に勤務（2000～2009）	
		乗越 健輔	看護師として病院に勤務（2004～2012）	
	小児看護学概論	浪邊 博子	看護師および助産師として病院に勤務（27年）	小児看護の対象はあらゆる健康レベルの子どもとその家族であり、子どもも家族も常に成長発達途上にある存在であることを学修する。また、社会や医療の中の子どもの権利について理解し、子どもの最善の利益を目指した看護について学修する。 <u>病院での勤務経験や今までの地域での活動を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		江口 千代	看護師および助産師として病院に勤務（8年） 子育て支援に関する相談業務に従事（5年）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	小児看護学各論	江口 千代	看護師および助産師として病院に勤務（8年） 子育て支援に関する相談業務に従事（5年）	小児看護学で学修した基礎知識を踏まえ、小児看護実践に必要な基礎的知識および具体的な看護支援について学修する。子どもの健康障害が子どもとその家族に及ぼす影響を理解し、子どもの健康の段階、発達段階、家族の生活の特徴に応じた看護支援について学修する。 <u>病院での勤務経験や今までの地域での活動を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	小児看護学演習	江口 千代	看護師および助産師として病院に勤務（8年） 子育て支援に関する相談業務に従事（5年）	小児看護学の基礎知識を踏まえ、子どもと家族の健康、発達上の課題を総合的に理解し、子どもと家族の健康レベルに応じた実践に必要な基礎的知識・技術・態度を学修する。また、常に看護学的視点をもち看護援助を具現化できるよう学修する。 <u>病院での勤務経験や今までの地域での活動を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	小児看護学実習	江口 千代	看護師および助産師として病院に勤務（8年） 子育て支援に関する相談業務に従事（5年）	病院や施設の中で生活する子どもの様々な成長発達、健康の段階を知り、あらゆる健康レベルの子どもとその家族の看護に必要な基礎的知識・技術・態度を修得し、個別の看護を見出すための看護過程の展開を学修する。 <u>病院での勤務経験や今までの地域での活動を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	母性看護学概論	下見 千恵	助産師および看護師として病院（産科病棟）に勤務 (1989～1996)	母性看護の基盤となる概念を学修する。母性看護の対象者に対する理解を深めるために、人間の性と生殖、母性の特性や健康問題、さらに母性看護の対象者を取り巻く社会の変遷と現状を学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	母性看護学各論	下見 千恵	助産師および看護師として病院（産科病棟）に勤務 (1989～1996)	妊娠・分娩・産褥期にある女性とその家族、新生児期にある児の特徴を身体・心理・社会的側面から学修する。これらを踏まえ、対象者の基本的な看護方法について理解する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	母性看護学演習	下見 千恵	助産師および看護師として病院（産科病棟）に勤務 (1989～1996)	妊娠、分娩、産褥、および新生児期にある対象をアセスメントし、さらにそれに応じたケアを行うための基礎的な知識、技術を学修する。また、各期に起こりやすい異常を理解し、異常の早期発見と異常時の援助について学修する。その上で、ペーパーペイシエントを用いて看護過程を展開してみる。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	母性看護学実習	下見 千恵	助産師および看護師として病院（産科病棟）に勤務 (1989～1996)	妊娠・分娩・産褥期にある女性とその家族を総合的に理解し、個別性を尊重した看護実践のための基礎的能力を養う。また、母性看護学に関連した社会資源・サポートシステムについて学修する。これらを通じてリプロダクティブヘルス・ライツ（reproductive health/rights：性と生殖に関する健康と権利）の考え方を理解し、このステージにある対象への看護のあり方について自らの考えをまとめる。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	精神看護学概論	山崎登志子	看護師として病院に勤務（1978～1996）	精神保健の理論や精神医療・看護の歴史、並びに必要な法律、現状を学修し、精神の健康を維持・増進するための支援や精神保健における看護の役割について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	精神看護学各論	山崎登志子	看護師として病院に勤務（1978～1996）	様々な精神疾患とその治療や心理検査、看護についての知識を修得し、心の健康問題をもつ人々への援助技術および態度を学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
糠信 憲明		看護師として病院・老健施設に勤務 (1999～2004)		
中村百合子		看護師として病院に勤務（1990～2003）		

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	精神看護学演習	山崎登志子	看護師として病院に勤務（1978～1996）	精神科看護の実践理論をもとに、疾患の回復過程や社会背景、人権擁護をふまえ、精神障害を持つ方の事例に基づき入院中および地域社会における支援の在り方を学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		糠信 憲明	看護師として病院・老健施設に勤務（1999～2004）	
		中村百合子	看護師として病院に勤務（1990～2003）	
		大沼いづみ	看護師として病院に勤務（2001～2006）	
	精神看護学実習	山崎登志子	看護師として病院に勤務（1978～1996）	精神的な健康問題をもつ人との関わりを通し自己理解を深めるとともに、対象者の人間性を尊重しつつ、健康面や病的側面を統合した援助の在り方を学修する。また、精神的な健康問題をもつ人の社会環境や多職種連携を考慮し、援助チームの一員としての看護師の役割を学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		糠信 憲明	看護師として病院・老健施設に勤務（1999～2004）	
		中村百合子	看護師として病院に勤務（1990～2003）	
		大沼いづみ	看護師として病院に勤務（2001～2006）	
	在宅看護学概論	新田 幸子	看護師として病院（手術室・外科外来・整形病棟）に勤務（1974～1982）	2025年に向けて、日本の在宅医療の動向と地域包括ケアシステム構築への取り組みを国の動きを踏まえて具体的に学修する。その中で、在宅で療養する人々や病気や障害を持ちながら社会で暮らす人とその家族の生活をケアする看護の役割と機能を学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	在宅看護学演習	新田 幸子	看護師として病院（手術室・外科外来・整形病棟）に勤務（1974～1982）	在宅という「生活の場」を理解し、看護技術の応用による援助の方法（自助具・介護用品の作成）を工夫することを学修する。在宅訪問実践（接遇）では、療養者、家族、訪問看護師、学生役を決めてシミュレーション演習に取り組む。 <u>病院等での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		久保木紀子	保健師として行政・地域包括支援センターに勤務（1988～2011、2013～2017） 看護師として特定施設入居者生活介護、訪問介護事業所に勤務（2011～2013）	
		吉原 和恵	看護師として病院に勤務（2004～2007） 保健師として行政に勤務（2009～2010）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	在宅看護学実習	新田 幸子	看護師として病院（手術室・外科外来・整形病棟）に勤務（1974～1982）	講義・演習で学修した授業内容を実習で評価できるようにより実践的な実習授業を展開している。具体的には、受け持ち療養者を持ち看護過程の展開を実施している。療養者のニーズに沿った計画立案を通し、実践評価をしている。 <u>病院等での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		西村みづえ	看護師として病院（精神神経科病棟）に勤務（1972～1973） 保健師として市町村（保健・福祉・介護部署）に勤務（1974～1975、1983～2011）	
		岡田 ゆみ	看護師として病院（混合病棟）に勤務（1997～1998） 保健師として市町村保健センターに勤務（1998～2001）	
		藤井 紀子	保健師として行政および健診機関に勤務（1977～2017）	
		久保木紀子	保健師として行政・地域包括支援センターに勤務（1988～2011、2013～2017） 看護師として特定施設入居者生活介護、訪問介護事業所に勤務（2011～2013）	
		吉原 和恵	看護師として病院に勤務（2004～2007） 保健師として行政に勤務（2009～2010）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	公衆衛生看護学概論	西村みづえ	看護師として病院（精神神経科病棟）に勤務（1972～1973） 保健師として市町村（保健・福祉・介護部署）に勤務（1974～1975、1983～2011）	公衆衛生看護の目的、歴史、対象者、活動の場とその展開など、公衆衛生看護における基盤的な学修を行い、看護職が公衆衛生看護の志向を持つことを目的としている。 <u>行政や健診機関に勤務した経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		藤井 紀子	保健師として行政および健診機関に勤務（1977～2017）	
		岡田 ゆみ	看護師として病院（混合病棟）に勤務（1997～1998） 保健師として市町村保健センターに勤務（1998～2001）	
	公衆衛生看護学各論 I	岡田 ゆみ	看護師として病院（混合病棟）に勤務（1997～1998） 保健師として市町村保健センターに勤務（1998～2001）	生涯にわたり各段階、健康レベルに応じた個人・家族および小集団の生活と健康状態について学修する。また人びとが主体的に問題を解決できる方法についての基礎的事項を学修する。 <u>病院や行政での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		久保木紀子	保健師として行政・地域包括支援センターに勤務（1988～2011、2013～2017） 看護師として特定施設入居者生活介護、訪問介護事業所に勤務（2011～2013）	
		吉原 和恵	看護師として病院に勤務（2004～2007） 保健師として行政に勤務（2009～2010）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	公衆衛生看護学各論Ⅱ	西村みづえ	看護師として病院（精神神経科病棟）に勤務（1972～1973） 保健師として市町村（保健・福祉・介護部署）に勤務（1974～1975、1983～2011）	地域診断で明確になった地域の健康課題を解決する保健福祉計画を策定し、さらに、計画を実現するために活動や事業計画、実践、評価のプロセスをたどる。こうしたプロセスと活動を円滑かつ効果的に進めるために地域の人々や関係者と協働して活動する地域組織やネットワーク、地域ケアシステムづくりを学修する。 <u>行政機関に勤務した経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		久保木紀子	保健師として行政・地域包括支援センターに勤務（1988～2011、2013～2017） 看護師として特定施設入居者生活介護、訪問介護事業所に勤務（2011～2013）	
	公衆衛生看護学各論Ⅲ	西村みづえ	看護師として病院（精神神経科病棟）に勤務（1972～1973） 保健師として市町村（保健・福祉・介護部署）に勤務（1974～1975、1983～2011）	公衆衛生看護管理の基本と要素、地域の危機管理では感染症の集団発生や災害時看護について学修し、加えて保健師の専門的自立と継続的な質の向上の必要性について学修する。 <u>行政機関に勤務した経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	学校保健	藤井 紀子	保健師として行政および健診機関に勤務（1977～2017）	学齢期の児童、生徒を取り巻く社会情勢の変化や家族構成の変化、学童の健康問題の変化などについて学修する。 <u>学校検診の経験を活かし、児童生徒の身体的、精神的変化の観察の重要性を示唆し、学習を促す。</u>
産業保健	藤井 紀子	保健師として行政および健診機関に勤務（1977～2017）	働く人々の健康管理の重要性について、 <u>健診機関勤務中に多くの企業従業員の検診結果に基づく保健指導経験を活かし、労働安全衛生マネジメントの重要性を示唆し、理解を促す。</u>	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	公衆衛生看護学演習Ⅰ	西村みづえ	看護師として病院（精神神経科病棟）に勤務（1972～1973） 保健師として市町村（保健・福祉・介護部署）に勤務（1974～1975、1983～2011）	人々が主体的に健康問題を解決できるよう、個人や家族、グループ、組織の特性と取り巻く地域の特性をふまえた効果的な保健指導の技法の特徴や技術の基礎的能力を養う。技術の中には、健康相談、健康診査、家庭訪問、健康教育、多職種や地域組織と連携、協働等があり、初歩的なアセスメントと効果的な保健指導の技法を学修する。 <u>行政機関に勤務した経験を活かし、より実践的な演習授業を展開している。</u>	
		久保木紀子	保健師として行政・地域包括支援センターに勤務（1988～2011、2013～2017） 看護師として特定施設入居者生活介護、訪問介護事業所に勤務（2011～2013）		
		吉原 和恵	看護師として病院に勤務（2004～2007） 保健師として行政に勤務（2009～2010）		
	公衆衛生看護学演習Ⅱ	岡田 ゆみ	看護師として病院（混合病棟）に勤務（1997～1998） 保健師として市町村保健センターに勤務（1998～2001）		地域の顕在あるいは潜在している健康問題を明確にして根拠ある活動を行うための地域診断技法を学修する。 <u>病院や行政での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		吉原 和恵	看護師として病院に勤務（2004～2007） 保健師として行政に勤務（2009～2010）		

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	公衆衛生看護学演習Ⅲ	西村みづえ	看護師として病院（精神神経科病棟）に勤務（1972～1973） 保健師として市町村（保健・福祉・介護部署）に勤務（1974～1975、1983～2011）	公衆衛生看護の6つの管理機能を活用し、情報収集・アセスメントにより出てきた健康課題から事業化、評価という一連のプロセスについて、また、健康危機管理は感染症の集団発生と災害について、初期から平常時について演習を行い、健康危機管理について実践的に学修する。 <u>行政機関での勤務経験を活かし、より実践的な演習授業を展開している。</u>
		久保木紀子	保健師として行政・地域包括支援センターに勤務（1988～2011、2013～2017） 看護師として特定施設入居者生活介護、訪問介護事業所に勤務（2011～2013）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	公衆衛生看護学演習Ⅳ	岡田 ゆみ	看護師として病院（混合病棟）に勤務（1997～1998） 保健師として市町村保健センターに勤務（1998～2001）	公衆衛生看護活動を展開するために必要な技術について、公衆衛生看護学各論・演習で学んだことを総合して演習を行う。個人や集団の健康課題を解決するための保健指導について演習を行う。指定された地域での既存資料分析を行う。 <u>病院や行政での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		西村みずえ	看護師として病院（精神神経科病棟）に勤務（1972～1973） 保健師として市町村（保健・福祉・介護部署）に勤務（1974～1975、1983～2011）	
		藤井 紀子	保健師として行政および健診機関にて勤務（1977～2017）	
		久保木紀子	保健師として行政・地域包括支援センターに勤務（1988～2011、2013～2017） 看護師として特定施設入居者生活介護、訪問介護事業所に勤務（2011～2013）	
		吉原和恵	看護師として病院に勤務（2004～2007） 保健師として行政に勤務（2009～2010）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	公衆衛生看護学実習 I	西村みづえ	看護師として病院（精神神経科病棟）に勤務（1972～1973） 保健師として市町村（保健・福祉・介護部署）に勤務（1974～1975、1983～2011）	地域で生活する個人や家族、地域集団の特性や健康課題および取り巻く環境を理解し、予防的視点で課題解決に至る対応策の一部を計画・立案し、課題解決に至る公衆衛生看護実践の基本的技術、既習の概念・理論・方法の応用および保健・医療・福祉に関わる職種・組織との連携について、保健所・市（保健センター）において、見学や実践を通して学修する。 <u>行政機関等での勤務経験を活かし、より実践的な実習を展開している。</u>
		藤井 紀子	保健師として行政および健診機関にて勤務（1977～2017）	
		岡田 ゆみ	看護師として病院（混合病棟）に勤務（1997～1998） 保健師として市町村保健センターに勤務（1998～2001）	
		久保木紀子	保健師として行政・地域包括支援センターに勤務（1988～2011、2013～2017） 看護師として特定施設入居者生活介護、訪問介護事業所に勤務（2011～2013）	
		吉原 和恵	看護師として病院に勤務（2004～2007） 保健師として行政に勤務（2009～2010）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	公衆衛生看護学実習Ⅱ	西村みづえ	看護師として病院（精神神経科病棟）に勤務（1972～1973） 保健師として市町村（保健・福祉・介護部署）に勤務（1974～1975、1983～2011）	学校保健および産業保健の現場における個人や家族、集団、取り巻く環境について考察する。また、健康課題解決のための組織的取り組みについての法律や取り組む組織の一員として看護職の役割について学修する。 <u>行政機関等での勤務した経験を活かし、より実践的な実習を展開している。</u>
		藤井 紀子	保健師として行政および健診機関にて勤務（1977～2017）	
		岡田 ゆみ	看護師として病院（混合病棟）に勤務（1997～1998） 保健師として市町村保健センターに勤務（1998～2001）	
		久保木紀子	保健師として行政・地域包括支援センターに勤務（1988～2011、2013～2017） 看護師として特定施設入居者生活介護、訪問介護事業所に勤務（2011～2013）	
		吉原 和恵	看護師として病院に勤務（2004～2007） 保健師として行政に勤務（2009～2010）	

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	リハビリテーション看護論	白木 智子	看護師として病院に勤務（1981～1992）	リハビリテーションの概念を人間の基本的生活を保障するための人権思想や、ノーマライゼーション、QOLの観点から捉える。その上で、1)リハビリテーション看護の概念、対象、方法、2)リハビリテーションチームにおける看護、3)他の専門職種との役割・機能と連携によるチームアプローチ、について学ぶ。また、4)リハビリテーション看護を必要とする対象者への看護のあり方の基本、について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	感染制御学	糠信 憲明	看護師として病院・老健施設に勤務（1999～2004）	感染制御の基礎となる経路別予防策や抗菌薬適正使用に向けた取り組み、大規模災害としてのパンデミックについてなどを学修する。 <u>病院・老健施設での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	子育て支援論	江口 千代	看護師・助産師として病院に勤務（8年） 子育て支援に関する相談業務に従事（5年）	子育てに関する社会環境を妊娠・出産から理解し概観するとともに、わが国や諸外国の子育て支援の現状と課題について学修する。また、子育て中の家族の発達課題を理解し、各発達課題に応じた支援について学修する。 <u>病院での勤務経験、地域での活動業務を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	難病看護論	秋山 智	看護師として病院に勤務（1982～1993）	わが国の難病対策の概要、および難病、特に神経系の難病に罹った患者・家族の現状と問題点について学修する。特に、1. わが国の難病対策の歴史と現在の概要、2. 代表的な神経難病にかかった患者・家族の現状と問題点、3. 代表的な神経難病患者に対するケアの概要について学びを深める。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	メンタルヘルス支援論	山崎登志子	看護師として病院に勤務（1978～1996）	メンタルヘルス支援のための技術を学修するとともに、対象者の様々な状況や関係性に応じた支援について演習を通じて学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		中村百合子	看護師として病院に勤務（1990～2003）	
	ターミナルケア論	秋山 智	看護師として病院に勤務（1982～1993）	ターミナルケアおよび症状緩和ケア、家族看護の基本を学修し、死にゆく患者とその家族に対する看護に関する理解を深めるとともに、生と死について考える。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		岡本 裕子	看護師として病院に勤務（1980～1988）	
		坂村 八恵	看護師として病院に勤務（1993～2000）	
		竹山 広美	看護師として病院に勤務（1994～2001、2004～2011）	
		野間 雅衣	看護師として病院に勤務（1987～1993）	
	災害・救急看護論	松本 睦子	看護師として病院に勤務（1988～1994）	災害発生時や突発的な事故・重篤な疾病など、救急医療が必要となる状況や場面において、生命の危機的状況に陥っている対象を救うために実践される看護援助について学修する。また、災害・救急医療にかかわる人々との連携の重要性、救命の連鎖について理解し、救命救急医療における倫理についても学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
		山崎登志子	看護師として病院に勤務（1978～1996）	
		俵 由美子	看護師として病院に勤務（1998～1999）	
		二井矢清香	看護師として病院に勤務（11年）	
		糠信 憲明	看護師として病院・老健施設に勤務（1999～2004）	
濱井 和子		看護師として病院に勤務（1985～1991）		
三味 祥子		看護師として病院に勤務（12年9ヶ月）		
中村百合子		看護師として病院に勤務（1990～2003）		
岡本亜耶子		看護師として病院に勤務（10年）		
杉野 美和		看護師として病院に勤務（13年）		

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	統合看護学実習	秋山 智 下見 千恵 渡邊 博子 新田 幸子 松本 睦子 山崎登志子 江口 瞳 岡田 ゆみ 坂村 八恵 白木 智子 俵 由美子 二井矢清香 西村みずえ 糠信 憲明 濱井 和子 藤井 紀子 石原 克秀 三味 祥子 竹山 広美 中村百合子 乗越 健輔 山田 智子 岡本亜耶子 吉原 和恵	上記記載の実績による。	看護学に関する知識・技術・態度を統合させ、看護職としての基本的資質や看護実践能力を高めることを目的とする。1)主体的、能動的、問題解決的な学習を実践し、看護実践能力を高める、2)看護職としての責任を自覚し、倫理的態度を育む、3)看護チームおよび他職種との協働の中で、メンバーシップおよびリーダーシップを理解する、4)チーム医療および看護ケアにおけるマネジメントの視点から、組織、機能、安全などのあり方について理解する、以上を目標に学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
------	---------	--	-------------	---

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学総合演習	秋山 智 下見 千恵 渡邊 博子 新田 幸子 松本 睦子 山崎登志子 江口 瞳 岡田 ゆみ 坂村 八恵 白木 智子 俵 由美子 二井矢清香 西村みずえ 糠信 憲明 濱井 和子 藤井 紀子 石原 克秀 三味 祥子 竹山 広美 中村百合子 乗越 健輔 山田 智子 岡本亜耶子 吉原 和恵	上記記載の実績による。	看護師・保健師になる心構えを養い、就職活動の基本マナーを身につけること、国家試験に必要な知識を修得することを目的とする。1) 看護師・保健師の資質、仕事への意欲、対人力について学修する、2) 第一線で働く看護師・保健師の現状を知る、3) 就職活動のあり方、社会人としてのマナー、面接時の受け答えの注意点を学修する、4) 国家試験に必要な専門基礎知識・専門知識の再確認をおこない、国家試験に合格し、就職するために必要かつ十分な知識を修得する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
研究方法論	秋山 智 下見 千恵 渡邊 博子 新田 幸子 松本 睦子 山崎登志子 糠信 憲明	上記記載の実績による。	看護研究の必要性、研究の倫理的配慮を理解し、看護研究の方法とその進め方に関する基本的知識や研究プロセスについて具体的に学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

## 実務経験のある教員による授業科目一覧（看護学科）

看護学科	卒業研究	秋山 智 下見 千恵 渡邊 博子 新田 幸子 松本 睦子 山崎登志子 江口 瞳 岡田 ゆみ 坂村 八恵 白木 智子 俵 由美子 二井矢清香 西村みずえ 糠信 憲明 濱井 和子 藤井 紀子 石原 克秀 三味 祥子 竹山 広美 中村百合子 乗越 健輔 山田 智子	上記記載の実績による。	看護現象を科学的にとらえ、論文にまとめることにより、将来の看護実践の向上につながる研究的態度を養うことを目的に、「卒業研究要項」に沿って看護研究論文を作成する。テーマに関する文献の検索・購読などを通して論理的・科学的思考を養い専門的知識を修得する。原則として、文献的看護研究（文献研究）に基づいた看護研究論文の作成を行う。論文作成の過程の中で、研究者に求められる基本的な行動規範や倫理観についても学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
------	------	--	-------------	--